



東京立川 ロータリークラブ

【司会進行】

SAA委員会 鈴木 誠委員

【開会点鐘】 中野裕司会長

【ロータリーソング斉唱】

『奉仕の理想』

【お客様の紹介】 中野裕司会長

【会長挨拶】 中野裕司会長

【幹事報告】 田中 太幹事

【委員会報告】

多摩中グループ歴代会 伊藤平八朗さん

親睦委員会 横手好一委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 長岡良彦委員

【出席率の発表】

出席委員会 荒口 仁副委員長

11月17日(金)	会 員 数	108名
	出 席 義 務 会 員	102名
	出 席 免 除 会 員	6名
	当 日 出 席 者	75名
	出席免除会員の当日出席者	2名
	出 席 率	72.12%
	11月3日の出席率	休 会

【卓話講師紹介】

社会奉仕委員会 木村辰幸委員長

【卓話】 警視庁生活安全部長

警視長 田代芳広様

【閉会点鐘】 中野裕司会長

2017~2018年度 RIテーマ



ロータリー
変化をもたらす

2017~2018年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライスリー

2017~2018年度 クラブテーマ

Be surprised!! Rotary!

「感動を忘れずに!」

東京立川ロータリークラブ
会長 中野裕司



例会時には必ずバッジをつけましょう

Weekly Report

2017.11.17 第2770回 例会



【会長挨拶】 中野裕司会長

グリーは、田中良和氏が2004年に創業したSNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)の会社で、本日はその方の言葉を紹介したいと思います。SNSといわれてその定義をすぐに答えられる方も少ないと思います。海外発祥のSNSといえばfacebook、twitter、instagram等々、国内で言えばmixi、モバゲー、GREE等で、この様な説明が出来る人は多いと思いますが、具体的な説明はしにくいと思います。SNSとは人と人の社会的繋がりを維持・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービスの事で、簡単に言えば人と人の繋がりを電子化するサービスです。このGREEの田中社長が書いた詩の一つに共感を覚えたので紹介させていただきます。これは「孤独」という詩です。



中野裕司会長

孤独…家族もいるし会社もあるけど、結局皆孤独。寝れない…明日チャンピオンシップに出るゴルファーの夜、友達はあるけど本当の部分でしゃべれる友達は中々いない。国とか世間のせいにしてはいけない。自分…全て自分の責任。近道がいつか敵になる。今の自分の状況じゃいけないと思いながらも、結局居心地が良い。人はそんなに器用じゃない。神様に一つもらったら「もうけもん」と思わなきゃ。でも毎日ハッピーが来るわけじゃない。今日寝れないのは俺だけじゃない。辛いときはガス抜きすれば良いのさ。という詩です。年齢は関係なく、長の付く方の役職の方は共感の出来る詩ではないでしょうか。皆様感動を忘れずに“Be surprised Rotary!!”以上会長挨拶でした。

【お客様の紹介】 中野裕司会長

田代芳広様(警視庁生活安全部長)

松永憲一郎様(警視庁立川警察署長)

露木秀幸様(警視庁生活安全部 管理官)

岡野武生様(警視庁生活安全部 少年育成課 立川少年センター長)

林 紀久子様(東京国分寺RC)

村野俊輔様(東京立川こぶしRC)



司会進行
鈴木 誠委員



ニコニコ発表
長岡良彦委員



出席率の発表
荒口 仁副委員長

【幹事報告】 田中 太幹事

●10日(金)第4回多摩中G協議会がパレスホテル立川にて開催されました。●20日(月)プログラム委員会第2回炉辺がホテル日航立川東京にて開催されます。●21日(火)親睦委員会の第4回炉辺が18:30よりパレスホテル立川にて開催されます。●テーブルに、ハイライトよねやま、メールボックスにバギオだよりを配布させて頂いております。ご一読下さい。受付に立川市民オペラ公演2018「椿姫」のチラシがあります。是非帰りにお持ち帰り下さい。



【委員会報告】

多摩中グループ歴代会 伊藤平八朗さん

11月14日(金)に歴代会が開催されました。次年度2018～19年度ガバナー補佐が決定し昭島ロータリークラブの安保満さん、グループ幹事が相田禎延さんとなり、当該年度の会長が清水淳一さんになろうかと思っております。2020年～21年度は小金井ロータリークラブが引き受けられ、人選は持ち帰られて改めて報告されるとの事です。その後については伝統と格式の我がクラブに回ってくるのではないかと考えられますので、昭和27年～35年あたりにお生まれの方はご用意願います。この歴代会というのは中央沿線12クラブの会長経験者がガバナー補佐を引受け、グループ幹事は会長に従う者が引受ける事になりますので、現在は12年に一度の役回りとなります。以前は8クラブでしたので8年に一度で、その頃は中分代理という名前でしたが小生も引受け、幹事には鈴木祥祐さんと榎戸岩雄さんをお願い致しました。当日の出席者は並木光治さん、尾内昭夫さんが出席されました。過去には岡部良夫さん、市村仁策さん、北島武治さん、鈴木正二さん、木村篤人さんが以前にお役を引受けております。



親睦委員会 横手好一委員長

本日メールBOXにチラシを入れさせて頂きましたが、本年最後のクリスマス例会の案内です。12月22日(金)17:30～受付、18:00開会を予定しております。恒例となっております。クリスマスプレゼントの大抽選会、また物まねタレントのみかんさんをお願いしております。クリスマス例会になる様親睦委員会一同盛り上げて参ります。今週より登録を受け付け12月1日までの3週となっておりますので、早期のご登録を宜しくお願い申し上げます。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 長岡良彦委員

- 中野裕司会長 警視庁生活安全部長 警視長 田代芳広様、警視庁生活安全総務課 庶務担当管理官 露木秀幸様、警視庁立川警察署長 松永憲一郎様、警視庁生活安全部少年育成課 立川少年センター長 岡野武生様の御来訪を祝して。また本日の卓話、宜しく願ひ致します。
- 田中 太幹事 本日の卓話講師をして頂きます田代芳広様の卓話を楽しみにしております。本日は宜しく願ひ致します。
- 伊藤平八朗さん 警視庁生活安全部長、警視長田代芳広さんの御来訪を歓迎して。
- 鈴木祥祐さん(東京都警察官友の会 第八方面委員会立川支部長)久しぶりに田代芳広様にお会い出来ました、プログラム委員長、坂村様有難うございました。
- 坂村英之さん 警視庁田代芳広部長の御来訪に感謝!田代さんはその昔、副署長として立川に勤務。立川の事はかなり詳しいですよ!
- 浅見英明さん 生活安全部長 田代芳広様の卓話、楽しみにしています。
- 木村辰幸さん 警視庁生活安全部長 田代芳広様、本日の卓話宜しく願ひ致します。また御多忙の中、露木秀幸管理官、地元立川警察署長 松永憲一郎様、立川少年

センター長 岡野武生様、立川ロータリークラブにお越し頂き有難うございます。

本日合計 34,000円 本年度累計 1,302,000円

【卓話講師紹介】 社会奉仕委員会 木村辰幸委員長

本年の社会奉仕委員会の基本活動の一つに「安全・安心な地域への貢献」を掲げておりまして、本日は警視庁生活安全部長 警視長 田代芳広様をお招きして「安全・安心に暮らせるまちづくり」～犯罪のない立川市に向けて～という事で卓話をして頂きます。田代様は昭和33年東京都のご出身、昭和55年4月に警察庁に入庁され、平成12年に警視に昇進され、平成17年3月に立川警察署副署長として着任され、その当時より当会メンバーもお付き合い頂いております。平成19年高島平警察署長、平成20年組織犯罪対策第5課長、平成22年人事第2課長という事で、この時点で警視正に昇格されております。平成25年麹町警察署長、平成27年警察学校長という事でこの時点で警視長に昇格されております。平成29年2月より生活安全部長を務められており、日夜日本の国の安全のために陣頭指揮を取られております。



「安全・安心に暮らせるまちづくり」

～犯罪のない立川市に向けて～

警視庁生活安全部長 警視長 田代芳広様

本日は沢山のニコニコを頂戴しまして大変緊張しております。私の出生地は武蔵境の日赤病院ですが、高校は立川高校でしたので3年間立川にお世話になっておりました。昭和40年代当時まだ旧制中学の名残で生徒の男女比が2:1で、警察学校も男性が多いのですが、それが今では共学で、男女クラスと男子クラスがあり、高校も同じでしたので2年と3年は男組で寂しい青春時代を過ごしました。その後平成17年から18年に掛けて立川警察の副署長を務めましたが、その時にRCの坂村先生が警察署協議会の委員をされておりました。また永年警視庁の少年補導員としてご活躍されており、私が生活安全部に戻った事から本日の御縁となりました。同じく少年補導員の木村先生には、今回の段取りで大変お骨折りを頂き有難うございます。また皆様との出会いにも大変感謝しております。



本日は安全・安心についてのお話をさせて頂きます。まず戦後の都内の犯罪発生状況ですが、専門的には「認知件数」を平たく言ったものです。犯罪が発生しても届が無ければ暗数になりますので、発生イコール認知件数ではありませんがそれ程の乖離はありません。続いて「犯罪率」についてですが、単純な犯罪件数ではなく単位人口当たりの犯罪数に修正を加えたものを言い、人口の増減にかかわらず犯罪状況を比較する事が出来ます。それを表したグラフによると、犯罪率の高いピークは昭和23年頃で戦後の混乱期にあり、犯罪件数は20万件を超えていました。その次に多いのが平成14年で、この時は30万件を超え、単純な発生件数としては戦後最悪を記録しました。これに伴って凶悪犯の認知件数も追いかけるように続きますので、犯罪全体の総数の増減を凶悪犯罪が追いかけているという事が言えます。昭和20年代後半には防犯協会が次々と設立されましたので、昭和30年代には犯罪総数も凶悪犯罪も減っていき

います。その数が底をついたのが昭和40年代後半辺りで、実はそこから犯罪全体は増加に転じております。ですので平成に入ってから急に治安が悪くなったわけではありませんし、当時の体感治安もそれほど悪く感じなかったと思います。その頃増えたのは、少年の初期非行、ゲートウェイ犯罪といわれる自転車等乗り物の窃盗や万引きといった物で犯罪総数は増えていましたが、凶悪犯罪は減り続けていました。ですので治安の悪化を感じませんでした。平成に入って犯罪総数を追いかけるように凶悪犯罪が増加に転じたのです。この事実から得られる教訓は、軽微な犯罪を甘く見てはいけないという事です。万引き自転車盗といえども、その犯罪者の中から本格的な犯罪の道に入っていき者が一定の割合で出てくるという苦い現実を突きつけられた訳です。だから少年の非行防止対策というのは、いつの時代でもとても重要だという事です。少し脱線しますが、私は組織犯罪対策第5課長をしておりましたが、ここは拳銃と薬物の取り締まりが主な任務です。ときおり大麻＝マリファナの解禁論を言う人がいますが、昔アメリカで、ハードドラッグの麻薬と区別してマリファナを合法化しました。そうしたら麻薬利用者が減るところか、麻薬天国になってしまった。大麻は心身ともに有害ですし、より強い刺激を求めて麻薬へと誘う、ゲートウェイドラッグです。日本では、同じ轍を踏んではいけないと思います。

平成14年当時、非行少年によるひったくりや車上狙い、路上強盗などの街頭犯罪が多発しておりました。更に輪を掛けてかく乱したのが、来日不良外国人です。もう今はほとんどありませんがピッキングと言う手口をご記憶のある方も多いのではないのでしょうか。これはある会社の製造にかかるディスクシリンダーと言う集合住宅に多く取り付けられていた錠を狙って、ピッキングという開錠用具で侵入する空き巣狙いで、被疑者のほとんどがある特定の国の来日外国人で不法滞在をしている者達でした。当時警察署の留置場は満杯で、収容定員の100%を超えるところもありました。製作者の名誉のためにも付言しておきますが、そのディスクシリンダー錠は当時としては優れた錠前だから、それだけ多く普及したのです。安価でしかも鍵数も非常に多かった。ピッキングと言うのは鍵屋さんだけの特殊技術だったのです。ところがそれを習得した不良外国人が大勢入国して、日本を荒らし回ったというのが実態です。そこで平成15年警視庁では、犯罪抑止総合対策を開始しました。それまで以上の官民連携の取り組みです。街の皆様には大変お骨折りをいただきました。歌舞伎町に警視庁が街頭防犯カメラを設置したのも、平成14年のことです。平成15年には池袋や渋谷地区にも拡大していきました。そしてそこから15年連続で犯罪が減少し続け、犯罪件数は昨年戦後最小を記録しました。今年もその傾向が続いており、立川市の犯罪数も凶悪犯を含め右肩下がりになっています。これだけの繁華街を抱えていながら、昨年の凶悪犯は一桁で、これはすごい事だと思います。街の方々の日頃の防犯へのご協力の賜物であると、本当に感謝したいと思います。いわゆる体感治安においては、犯罪が減少しているのにそれほど安全を肌で感じる事が出来ていないのではないのでしょうか。その理由の1つには、通常の常識では理解し難い犯罪が時々発生するようになって動機も不明。秋葉原における連続殺傷事件や、この度の座間の事件などもそうです。目下全容解明に向けて捜査中ですが、こういう犯罪が発生し報道されると、人々は言いようのない不気味さを感じ、いつも自分の身の回りでその様な犯罪が起こらないとも限らないという漠然とした不安感を抱く事となり、それが払拭しきれないのではないのでしょうか。特に今回のように、女性や生徒を狙った犯罪であると尚更です。もう一つが、犯罪の形態が

変化し新たな犯罪スタイルの発生している事です。今一番注意すべきが、特殊詐欺とサイバー犯罪です。犯罪全体は減り続けているのに、特殊詐欺とサイバー犯罪は増えてきています。いずれも凶悪犯罪とは言えないのですが、先程のゲートウェイ犯罪の教訓を踏まえて、油断なく警戒しなければいけないと思います。反社会勢力とのつながりも見え隠れしており、将来この犯罪集団が社会を揺るがすことにもなりかねないのです。次に特殊詐欺の現状についてですが、今年9月時点で昨年1年間の件数を上回っており、一番多いのがオレオレ詐欺です。そして架空請求と還付金詐欺。この3つで9割以上を占めます。オレオレ詐欺は息子や孫を語り、会社の金を紛失したとか痴漢の示談金が必要だとか、様々な理由をつけて騙すものです。還付金詐欺は、公的機関を装って医療費等のお金が返ってくるので無人のATMへ行くようにと誘導し、携帯電話で巧みに誤操作をさせ入金でなく、あべこべに送金させてしまうものです。この2つの被害者は、女性の高齢者が多いのです。騙しの入り口は、平日に家の加入電話にかかってきます。非常に巧妙に仕組まれておりますので、電話に出て会話をしてしまうと罠にはまってしまいます。ですから対策として、録音機能付き電話や迷惑防止機能付き電話をお勧めしております。それが、犯人からの電話に出ないための対策という事です。還付金詐欺対策ですが、無人ATMで携帯電話をかけながら操作をしているお年寄りを見かけたら、一声かけていただき警察へ通報してもらうというのが「無人ATM対策」です。続いて架空請求というのは、皆さんにもご注意いただきたいと思いますが、お年寄りや女性に限らず若者から中高年の男性も騙されています。一番多いのが有料動画サイトの未払いの請求です。これはまず有料サイトの料金未納のメールが届きます。今日中に連絡がなければ法的手段に訴えると脅しています。そこで連絡先に電話をしたりメールを返信すると、プリペイドカードを購入して支払うように指示してきます。コンビニなどに協力してもらって、電子マネーを購入しに来たお客さんに、メールや電話で料金請求があり電子マネーを要求されたら詐欺だという注意喚起のチラシを配っていただいている、これが「電子マネー対策」です。架空請求での各人に求められる対策は、一切反応しない事で、無視するに限ります。何かの間違ひではないかと確認する事も控えた方が良く、もし不安でしたら警察に相談してください。私の公用の携帯電話にも何回もショートメールが入ってきます。公用電話は動画サイトにアクセスできない制限がかかっていますから、まったくのデタラメであることがわかるでしょう。不安に感じて1回でも連絡を取ってしまうと、犯人の思うツボ、カモにされてしまいます。そして個人情報を知られてしまいますし、何でもそうですが一度でもお金を払ったが最後、それで終わらず次々と要求が来ます。暴力団対策にも通じるものがあるのですが、一度でも譲歩すると相手は次から次へと要求を上げてきます。利用できるものは、骨の髄までしゃぶるというのが奴らのやり方です。また昨今は、年少少女の自画撮り被害が増えています。これも原理は同じやり方です。SNSの世界で知り合って交信しているうちに、相手方から初めは顔写真を送ってくれと要求があります。それに応じてしまうと次には下着姿を送れ、さもないと持っている顔写真をばらまくぞと脅しにかかる。最終的には裸体の姿を送られるというものです。こちらの方に何か少しでも後ろめたさがあると、相手の要求に応じたい心理が働きます。でも一度要求を飲むと、後からは更なる要求が終わる事のないアリ地獄のように続く日々が待っています。後ろめたさがあっても、それはそれ。開き直りも肝心です。不当な要求には絶対に譲歩してはならないというのが鉄則です。畏怖困惑に乗じて金品を要求するの

は、恐喝という立派な犯罪です。相手は何よりも警察を恐れています。相手の要求に屈する前に、是非警察に相談してください。警察に相談したという事実を告げただけで、不法な輩は引き下がっていく事も多いのです。ところでロータリークラブの目的は、それぞれの事業や社会生活において、奉仕の理念とその実践であると同っており、まさにボランティア精神に基づく社会貢献活動であります。警察にも交通安全協会や防犯協会、あるいは少年補導員のようなボランティア活動をされている多くの街の方々がおられます。これは日ごろから警察に出入りされている街の方々に対しては、反社会勢力の連中は手出しをすることができないというのも事実です。もちろん警察は全ての皆さんをお守りしますし、暴力団排除活動を全面的にバックアップしておりますが、一歩進んで警察関連のボランティアに参加してみるという事も、そうした社会貢献の姿が巡り巡って、反射的作用として自らを守る事にも繋がるのではないかと思います。暴力団の勢力については減少傾向が続いており、反社会勢力からの不当要求に対する対応容量のパンフレットを配布しておりますのでご参考までにお読みください。要点として、毅然とした心構えと態度です。不当な要求にはわずかたりとも譲歩してはいけません。次に対応要領について知っておくことも必要です。また会社であつたら、社員全体が共通の認識を持てるよう周知することも大切です。例えば若手の営業担当者が、取引等で些細なミスをする。反社会の連中は、会社にばらすぞと脅してくる、この時その社員がしっかりと上司に報告できるかどうかです。職場の風通しの良さも大切なのです。そして最後にどうか遠慮することなく、警察にご相談ください。適切なアドバイスでご支援をいたします。彼らは警察に相談されるのが一番嫌なのです。サイバー犯罪について一点、ネットバンキングにおける不正送金の対策としてワンタイムパスワードが有効でしたが、昨年からのドリームボットという新種のウィルスが出回り、偽画面でワンタイムパスワードを入力した途端に自動送金されてしまう被害が発生しております。不審の添付ファイルを開く事のないよう、特段のご配慮をお願いいたします。続いて少年非行についてです。暴走族は減少しており補導少年の数も年々減ってきています。少子化が進んでおりますが、都内の少年人口は逆に増えているのです。その中での犯罪等の現象ですから、一時期に比べ良くなってきているのかと思います。

ただ犯罪に至らなくても、ネット上での不健全ないじめ等々、新たなスタイルでの問題はなくなる事はありません。近年力を入れているのはサイバー補導です。これはネット上で援助交際を求めている少年達と交信し、直接待ち合わせをして行動する。彼らの間では「サイポリ」に注意せよと警戒されています。警視庁では少年センターが各方面毎にあつて、立川では柴崎町にあります。少年補導員の方々との街頭少年補導、非行少年の立ち直り支援、少年相談を始め学校関係者と連携を密にして、少年の健全育成のための幅広い活動を行っています。RCのメンバーの中にも、坂村さん、木村さんはじめ十数名もの少年補導員の方々居られて、立川少年センターを中心に活動されております。会員の山下 明少年補導員のご尽力により、農業体験の立ち直り支援活動も行われています。盛り場対策については、立川駅周辺の再開発が進み、繁華街の状況も大きく変わりました。自分が副署長をしていた平成17年頃は、カラス族といって黒服で女性をスカウトする者が多数たむろしておりました。これは本部に何回か入ってもらって、迷惑防止条例等で検挙しました。今はもう黒服はいませんが、客引きの質が悪くなっていると聞いています。2020年東京オリンピックパラリンピックに向けて、繁華街の環境浄化は大切な課題です。風紀の良し悪しは、国の品格と国民の品性を映し出す鏡であると思います。今後も地元立川警察署と連携を図りながら、観光で来られた方々に安心して歩いていただけるよう、引き続き対策をとって参ります。駆け足でお話して参りましたが、日本の治安の良さは警察の力だけでは無いのです。警視庁140余年の歴史の中で、市民の皆様と共に歩んで、手を携えて安全安心を創造してきた長い歴史があるのです。制服警察官の勤務する交番では、道案内から落とし物の対応まで市民サービスに努めたり、巡回連絡に赴いて皆様と良好なコミュニケーションを図ってきた事が大きいのです。また生活安全警察では防犯協会はもちろん母の会、ビルの防犯協力会、それぞれの職域での防犯協力会、補導員を始めとする少年ボランティアの皆様方、多くの街の方々の支えをいただきながら安全安心の歩みを進めて参りました。

どうかこれからもこの街の安全と発展、そして子供たちの未来のためにご一緒に犯罪のない立川市を実現して参りたいと希望しておりますので、よろしくお願い申し上げます。

11.14(火)~16(木) 実施 インターンシップ受け入れの様子 その1



■ 事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
 【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
 【HP】<http://www.tachikawa-rc.org/>
 【E-mail】ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

■ 例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
 TEL：042-527-1111
 ■ 例会日／金曜日 12：30点鐘
 会長／中野裕司 幹事／田中太 会報担当者／安藤永一委員長